

# 大学要覧 2018



公立大学法人 山陽小野田市立  
**山口東京理科大学**  
Sanyo-Onoda City University

## CONTENTS

---

### 目次

山陽小野田市立山口東京理科大学の学び	1
沿革	1
機構図	2
役職員、経営審議会委員、教育研究審議会委員	3
教育研究上の基本組織の概要	4
教員数、事務職員数	5
平成30年度入学者の概要	5
平成30年度入学試験実施結果状況	6
平成30年度在学者の概要	7
卒業生・修了者数、学部卒業生の就職状況、就職者の分野別割合	8
外部研究資金等の受入状況	9
資格免許の取得状況	9
大学開放等の開催状況	10
連携協定（地域連携）の状況	10
自治体外部委員の状況	11
単位互換協定校の状況、外国人留学生の状況	12
平成30年度当初予算の概要	12
土地の保有状況、主要施設の状況	13

---

# 山陽小野田市立山口東京理科大学の学び

## 建学の精神

「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学は、地方都市における落ち着いた教育環境のもと、学校法人東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、薬工系の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、地域に根差し、地域社会の発展に寄与する「地域のキーパーソン」の育成に貢献することを目的とします。

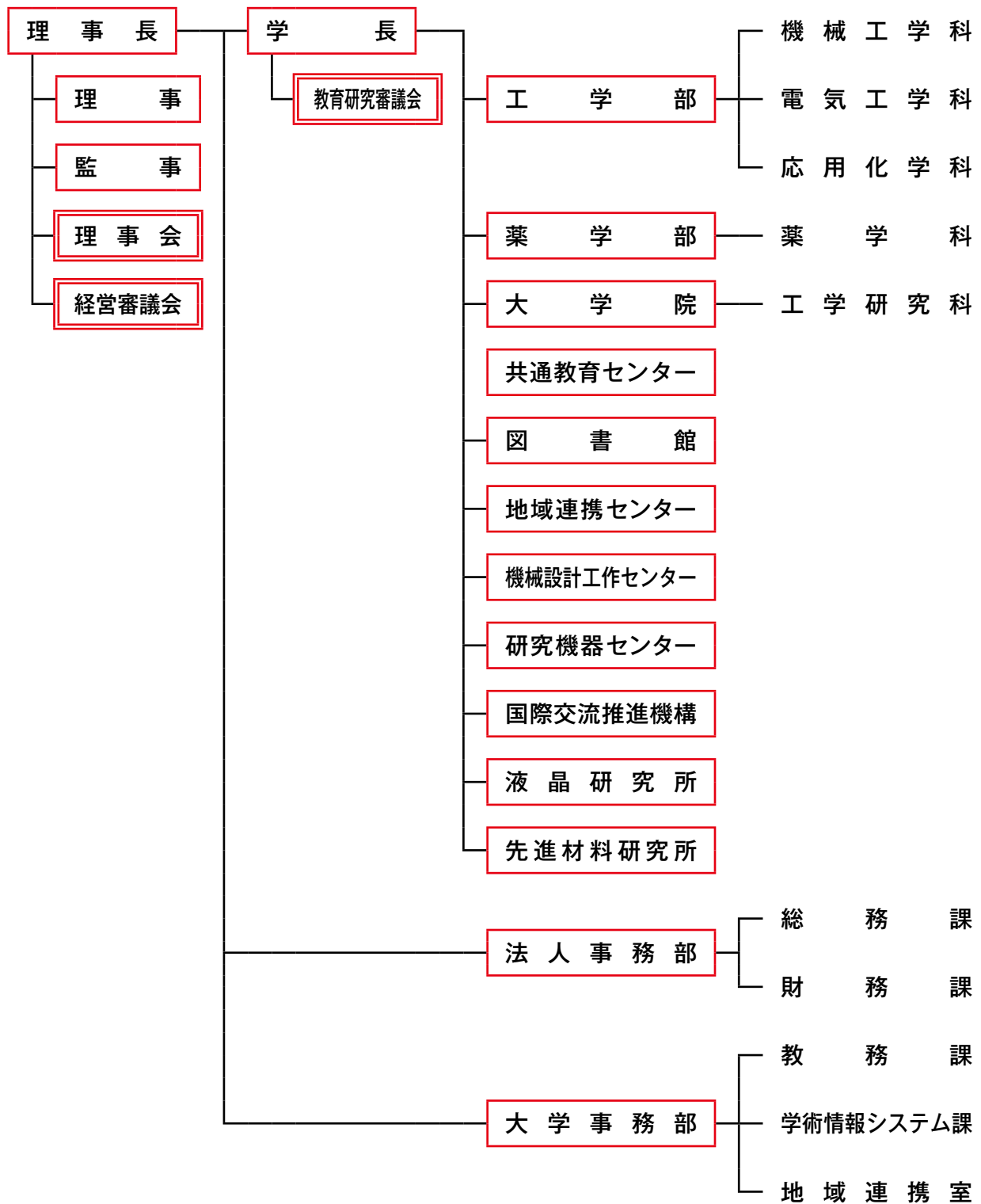
## 基本理念

- 世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな科学技術者の育成
- 波及効果の期待できる独創的・先進的研究の推進
- 教育・研究と地域貢献が一体化した生涯教育の充実

## 沿革

昭和 62 年(1987 年)	小野田市、宇部市、山口県からの強い要請を受け、公私協力方式により、本学の前身となる「東京理科大学山口短期大学」が小野田の地に開学。
平成 7 年(1995 年)	より高度な教育・研究体制の確立をめざし、4 年制大学へ改組転換し、山口東京理科大学が誕生する。
平成 9 年(1997 年)	液晶研究所を設置
平成 11 年(1999 年)	大学院基礎工学研究科修士課程を設置
平成 15 年(2003 年)	大学院基礎工学研究科博士後期課程を設置
平成 17 年(2005 年)	先進材料研究所を設置 小野田市と厚狭郡山陽町が合併して山陽小野田市が誕生
平成 21 年(2009 年)	より社会に密着し、産業界との連携を深めて効果的な教育研究を実現するために「工学部」を設置し、「機械工学科」「電気工学科」「応用化学科」の 3 学科体制となる。
平成 25 年(2013 年)	大学院工学研究科修士課程、博士後期課程を設置
平成 26 年(2014 年)	地域連携センターを設置
平成 28 年(2016 年)	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学を開設
平成 30 年(2018 年)	薬学部薬学科を設置

## ■ 機構図



## ■ 役職員

### 法人

#### 【役員】

理事長 池北雅彦  
 副理事長 森田廣  
 理事 望月正隆  
 理事 金田和博  
 理事 藤田敏彦  
 理事 田中剛男  
 監事 畑史善  
 監事 岡田卓司

### 大学

学長 森田廣

### 学部

#### ●工学部

工学部長 永田寅臣  
 機械工学科主任 吉村敏彦  
 電気工学科主任 阿武宏明  
 応用化学科主任 井口眞

#### ●薬学部

薬学部長 武田健  
 薬学科主任 松永浩文

### 大学院

#### ●工学研究科

研究科長 高頭孝毅

### 附属施設等

#### ●共通教育センター

センター長 金田和博

#### ●図書館

図書館長 橋本慎二

#### ●学生部

学生部長 井上啓

#### ●液晶研究所

所長 高頭孝毅

#### ●先進材料研究所

所長 白石幸英

#### ●地域連携センター

センター長 北條信

#### ●機械設計工作センター

センター長 吉村敏彦

#### ●研究機器センター

センター長 井口眞

#### ●国際交流推進機構

機構長 森田廣

### 事務局

法人事務部長 栗田秀隆

大学事務部長 貞重明男

## ■ 経営審議会委員（学外委員）

氏名	所属等
中村誠一	太平洋マテリアル株式会社 小野田工場参与工場長
岡本晋	長州産業株式会社 取締役社長
川久保賢隆	山口経済同友会 代表幹事
岩崎等	学校法人東京理科大学 理事

## ■ 教育研究審議会委員（学外委員）

氏名	所属等
安盛敦雄	学校法人東京理科大学 常務理事
河合伸也	山陽小野田市民病院 名誉管理者
宮内茂則	山陽小野田市教育委員会 教育長

## ■ 教育研究上の基本組織の概要

### 【学部】

(単位：人)

学部名	学科名	修業年限	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数
工学部	機械工学科	4年	60	240	66	312
	電気工学科		60	240	66	294
	応用化学科		80	320	79	373
	計	200	800	211	979	
薬学部	薬学科	6年	120	720	119	119
合計			320	1,520	330	1,098

(平成30年5月1日現在)

### 【大学院】

(単位：人)

研究科名	専攻名	修業年限	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数
工学研究科	工学専攻 (修士課程)	2年	15	30	12	20
	工学専攻 (博士後期課程)	3年	3	9	3	5

(平成30年5月1日現在)

### 【研究所】

研究所名	研究部門	概要
液晶研究所	液晶化学・複合材料部門	液晶研究所は、液晶に係る研究の発展及び充実を図り、広く社会に開かれた研究機関として、研究・教育の向上及び人材の育成に取り組むことを目的としています。
	電子材料部門	
	オプトエレクトロニクス部門	
	情報機能ナノ材料部門	
先進材料研究所	情報・バイオ部門	先進材料研究所は、材料分野に係る世界的な発展及び充実を図るとともに、教育・研究の向上及び人材の育成を行い、その研究成果を広く社会に還元し、公開することにより地域社会との連携を図り、広く社会に開かれた研究機関として、地域に貢献することを目的としています。
	エネルギー・環境部門	
	分子デザイン・解析部門	

### 【附属組織】

組織名	概要
図書館	図書館は、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行うことにより、広く学術の発展に寄与するとともに、本学の教職員及び学生の教育研究に資することを目的としています。
地域連携センター	地域連携センターは、地域文化の向上並びに地域活性化のための事業を地域と協働して企画、立案、実行し、本学の地域貢献活動を組織的に遂行することを目的としています。
機械設計工作センター	機器設計工作センターは、機械設計工作設備を維持管理し、教育及び研究の用に供することにより、本学の教育研究活動の一層の進展に資することを目的としています。
研究機器センター	研究機器センターは、大型分析機器等の維持管理を行い、本学の教育・研究を効率的に進めることができる高度な研究環境を共同利用に供することにより本学の教育研究活動の一層の進展に資することを目的としています。
国際交流推進機構	国際交流推進機構は、本学の各組織を有機的に連携させ、全学的な視点から戦略的な国際交流活動を推進していくことを目的としています。

## ■ 教員数

(単位：人)

学部名	所属名	教授	准教授	講師	助教	助手	技能員	合計
工学部	機械工学科	5	0	3	3	0	0	11
	電気工学科	5	0	4	3	0	0	12
	応用化学科	6	2	1	4	0	0	13
薬学部	薬学科	12	4	7	3	2	0	28
共通教育センター		6	4	4	0	0	0	14
先進材料研究所		0	0	0	2	0	0	2
機械設計工作センター		0	0	0	0	0	2	2
合計		34	10	19	15	2	2	82

## ■ 事務職員数

(単位：人)

所属名	正規職員	臨時職員	合計
事務系	35	7	42
医療系	1	0	1
コーディネーター	0	1	1
合計	36	8	44

## ■ 平成30年度入学者の概要

### 【学部】

(単位：人、%)

学部名	学科名	定員	入学者数	県内	県外	男	女
工学部	機械工学科	60	66	17	49	59	7
	電気工学科	60	66	21	45	61	5
	応用化学科	80	79	16	63	57	22
	計	200	211	54	157	177	34
薬学部	薬学科	120	119	35	84	50	69
合計		320	330	89	241	227	103
			割合(%)	27	73	69	31

### 【大学院】

学部名	専攻名	定員	入学者数	県内	県外	男	女
工学研究科	工学専攻(修士課程)	15	12	12	0	10	2
	工学専攻(博士後期課程)	3	3	3	0	3	0
合計		18	15	15	0	13	2
			割合(%)	100	0	87	13
大学・大学院計		338	345	104	241	240	105
			割合(%)	30	70	70	30

(平成30年5月1日現在)

## 平成 30 年度入学試験実施結果状況 (学部)

(単位：人、%)

学科名	区分	募集人数	志願者	志願倍率 (注1)	受験者	合格者 (注2)	実質倍率 (注3)	入学者
工学部								
機械工学科	AO	5	40	8.0	40	5	8.0	5
	地域推薦	14	19	1.4	19	14	1.4	14
	一般推薦	5	33	6.6	33	7	4.7	7
	社会人	若干名	0	—	0	0	—	0
	外国人留学生	若干名	13	—	11	2	5.5	1
	前期日程(A方式)	14	189	13.5	178	18	9.9	16
	前期日程(B方式)	14	192	13.7	183	20	9.2	17
	公立大学中期日程	8	326	40.8	211	32	6.6	6
	計	60	812	13.5	675	98	6.9	66
電気工学科	AO	5	24	4.8	24	7	3.4	7
	地域推薦	14	18	1.3	18	14	1.3	14
	一般推薦	5	33	6.6	33	7	4.7	7
	社会人	若干名	0	—	0	0	—	0
	外国人留学生	若干名	7	—	7	1	7.0	0
	前期日程(A方式)	14	123	8.8	113	18	6.3	16
	前期日程(B方式)	14	190	13.6	182	18	10.1	18
	公立大学中期日程	8	286	35.8	173	20	8.7	4
	計	60	681	11.4	550	85	6.5	66
応用化学科	AO	5	29	5.8	29	6	4.8	6
	地域推薦	18	12	0.7	12	12	1.0	12
	一般推薦	7	31	4.4	31	14	2.2	14
	社会人	若干名	0	—	0	0	—	0
	外国人留学生	若干名	6	—	5	2	2.5	2
	前期日程(A方式)	20	158	7.9	143	26	5.5	17
	前期日程(B方式)	20	332	16.6	314	26	12.1	19
	公立大学中期日程	10	389	38.9	244	42	5.8	9
	計	80	957	12.0	778	128	6.1	79
薬学部								
薬学科	地域推薦	30	29	1.0	29	28	1.0	28
	公立大学中期日程	90	1,419	15.8	1,094	165	6.6	91
	計	120	1,448	12.1	1,123	193	5.8	119
平成 30 年度 合計	AO	15	93	6.2	93	18	5.2	18
	地域推薦	76	78	1.0	78	68	1.1	68
	一般推薦	17	97	5.7	97	28	3.5	28
	社会人	若干名	0	—	0	0	—	0
	外国人留学生	若干名	26	—	23	5	4.6	3
	前期日程(A方式)	48	470	9.8	434	62	7.0	49
	前期日程(B方式)	48	714	14.9	679	64	10.6	54
	中期日程	116	2,420	20.9	1,722	259	6.6	110
	計	320	3,898	12.2	3,126	504	6.2	330
平成 29 年度	計	200	1,790	9.0	1,319	304	4.3	204

(注1) 志願倍率 = 志願者 / 募集人数

(注2) 合格者は、追加合格者を含む。

(注3) 実質倍率 = 受験者数 / 合格者数



## ■ 平成 30 年度在学者の概要

### 【学部】

(単位：人、%)

学部名	学 科 名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	男	女
工学部	機械工学科	66	64	87	95			312	296	16
	電気工学科	66	59	90	79			294	272	22
	応用化学科	79	78	108	108			373	276	97
	計	211	201	285	282			979	844	135
薬学部	薬 学 科	119	-	-	-	-	-	119	50	69
合 計		330	201	285	282	-	-	1,098	894	204
(平成 30 年 5 月 1 日現在)								割合(%)	81	19

### 【大学院】

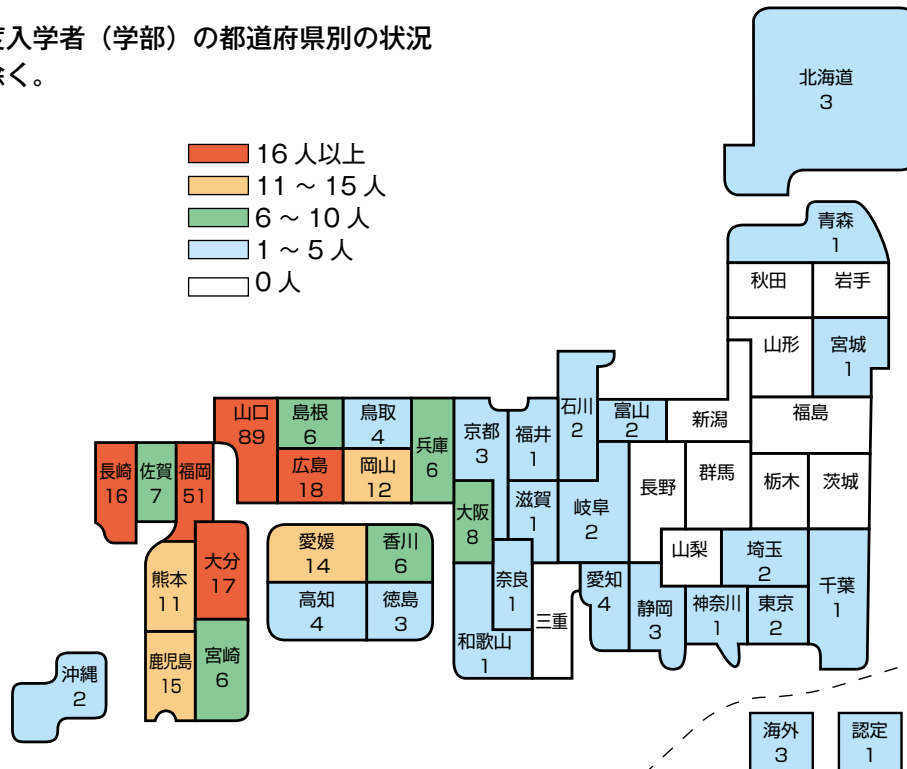
(単位：人、%)

学 部 名	学 科 名	1年生	2年生	3年生	合計	男	女	
工学研究科	工学専攻(修士課程)	12	8		20	16	4	
	工学専攻(博士後期課程)	3	2	0	5	5	0	
合 計		15	10	0	25	21	4	
(平成 30 年 5 月 1 日現在)						割合(%)	84	16

## 参 考

### ◆平成 30 年度入学者(学部)の都道府県別の状況

※編入学を除く。



(平成 30 年 5 月 1 日現在)

## ■ 卒業者・修了者数

(単位：人)

学部名	開設年度	卒業・終了者数
東京理科大学山口短期大学	昭和62年4月1日～平成7年3月31日	1,896
山口東京理科大学	平成7年4月1日～平成28年3月31日	2,269
山口東京理科大学大学院 修士課程	平成11年4月1日～平成28年3月31日	204
山口東京理科大学大学院 博士後期課程	平成15年4月1日～平成28年3月31日	8
山陽小野田市立山口東京理科大学	平成28年4月1日～	257
山陽小野田市立山口東京理科大学大学院 修士課程	平成28年4月1日～	22
山陽小野田市立山口東京理科大学大学院 博士後期課程	平成28年4月1日～	3
合 計		4,674

## ■ 学部卒業者（平成30年3月）の就職状況

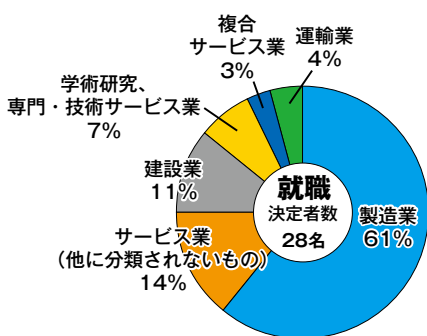
(単位：人、%)

学部名	学 科 名	卒業者数 (A)	大学院 進学者数 (B)	その他 (C)	就職希望者数 (D)	就職決定者数 (E)		就職率% (E/D)	県内就職率% (F/E)
						内県内就職(F)			
工学部	機械工学科	35	5	2	28	28	14	100	50
	電気工学科	31	4	0	27	27	10	100	37
	応用化学科	63	10	8	45	45	10	100	22
合 計		129	19	11	100	100	34	100	34

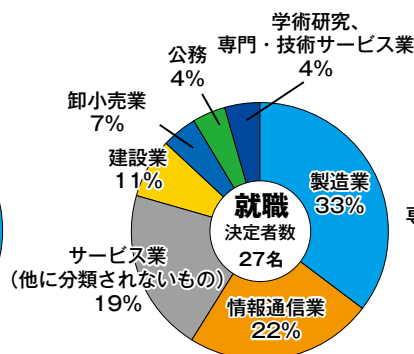
## ■ 就職者の分野別割合

工学部

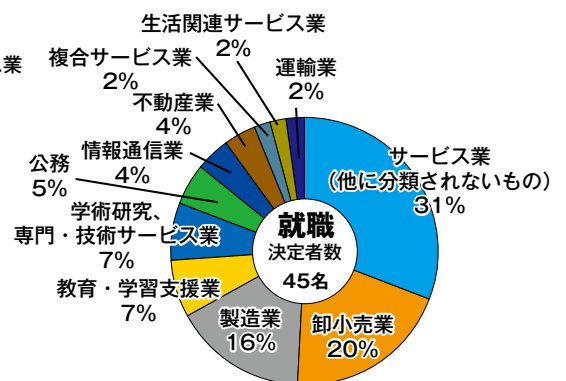
機械工学科



電気工学科



応用化学科



(平成30年3月卒業者)

## 外部研究資金等の受入状況

(金額単位：円)

区 分		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
科学研究費補助金	件数	14	13	8	18
	金額	19,890,000	15,080,000	12,740,000	20,647,000
文部科学省 大学改革推進等補助金等	件数	3	2	1	2
	金額	26,712,934	15,570,000	14,529,155	17,379,155
受託研究・受託事業	件数	1	3	4	6
	金額	1,700,000	3,999,000	21,359,968	16,333,200
奨学寄附金・公募助成金	件数	6	5	9	13
	金額	2,490,000	3,200,000	7,180,000	8,325,820
共同研究	件数	5	3	7	11
	金額	5,800,000	34,159,920	40,776,280	14,076,000
その他	件数	1	1		
	金額	500,000	75,000		
合計	件数	30	27	29	50
	金額	57,092,934	72,083,920	96,585,403	76,761,175

※新規及び継続事業の計（繰越額を含まず）

※表中の科学研究費補助金は文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会に係るもの

## 資格免許の取得状況

(単位：人)

区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
修習技術者 (JABEE 修了者)	機械工学科	4	9	10
	電気工学科	10	11	2
	応用化学科	20	12	13
	合 計	34	32	25
中学校教諭 一種免許状 (理科)	応用化学科		8	18
高等学校教諭 一種免許状 (理科)	応用化学科		10	19
高等学校教諭 一種免許状 (工業)	機械工学科	3	1	2
	電気工学科	0	0	0
	合 計	3	1	2
毒物劇物取扱責任者	応用化学科	47	44	63

※理科の教職課程は平成 28 年度から第 1 期生が卒業

## ■ 大学開放等の開催状況

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
教育文化講演会	開催回数		1	1
	受講者数		130	150
理科教員のための リカレントセミナー	開催回数	1	1	1
	受講者数	23	11	12
ほんものの科学体験講座	開催回数	23	21	25
	受講者数	752	646	664
かがく博覧会	開催回数	1	1	1
	受講者数	3,650	3,250	3,780
大学体験講座・実験	開催回数	3	4	4
	受講者数	50	103	103
大学開放授業	開催回数			1
	受講者数			5
研究室公開	開催回数	1	1	1
	参加者数	40	36	26
サイエンスカフェ	開催回数	6	6	5
	参加者数	73	78	68
オープンキャンパス	開催回数	2	1	1
	参加者数	745	734	1,092
合 計	開催回数	27	30	39
	受講者数	5,333	4,988	5,895

## ■ 連携協定（地域連携）の状況

協 定 名	協定（覚書）締結日	主 旨・目 的
山陽小野田市・山口東京理科大学 連携協議会	平成 28 年 4 月 1 日	包括的連携のもと、学校法人東京理科大学山口東京理科大学と培ってきた信頼関係と連携の実績を基盤として、より緊密で強固な連携体制を構築し、地域の発展に貢献します。
山陽小野田市産学官 連携推進協議会	平成 28 年 7 月 25 日	産学官の連携によって大学からの技術移転を促進するとともに、新商品の開発や新しい産業・技術を創出できるような環境の形成を通して、地域産業・企業発展支援による本市の多様な働く場の確保や地方創生に資することを目的とします。

## 自治体外部委員の状況

委員会名	主旨・目的
山陽小野田市・山口東京理科大学連携協議会委員	「山陽小野田市と山口東京理科大学との連携に関する協定書」第4条に基づき、市と大学の人的・知的資源を活用した連携協力事業に関する事項を協議します。
山口地域留学生交流推進会議運営委員会委員	山口地域における留学生の円滑な受け入れの促進と相互交流の推進を図り、地域住民の国際理解の増進に寄与します。
小野田中学校区学校運営協議会委員	地域のネットワークを形成し、学校・家庭・地域が連携・協働することにより社会総がかりで小中9年間の子供たちの学び育ちを見守り支援します。
山陽小野田市地域公共交通会議委員	道路運送法の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、並びに地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通網形成計画の作成及び実施に関し必要な協議を行います。
山陽小野田市教育点検・評価委員	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の点検・評価を行うに当たり、客観性を確保するため教育に関し学識経験を有する方の知見を活用します。
山陽小野田市自治基本条例審議会委員	山陽小野田市自治基本条例の見直しの検討に当たり、公募委員のほか、学識経験者や市民団体等の役員等から意見を聴取します。
山陽小野田市交通安全対策協議会委員	市内における交通安全の確保に関し、関係機関及び団体等が緊密な連携、協議のもと、総合的かつ効果的な交通安全対策を推進し、交通事故のない安全なまちづくりに寄与します。
山陽小野田市地方創生協議会委員	山陽小野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に当たり、本市のまちづくりに関する識見を有する市民等から意見を聴取するため、市長の私的諮問機関として委員会を設置します。
山陽小野田市国際交流協会委員	市民を主体として幅広い分野における国際交流や国内における地域間交流を推進し、国際化に対する認識・理解や国内の他地域との相互理解を深めるとともに、世界に開かれた地域社会づくりと市民生活の向上に寄与します。
全国都市緑化やまぐちフェア実行委員会委員	県内関係団体協力のもと、フェアの円滑な実施及び運営を図るため、全国都市緑化フェア実施要領に基づき委員会を設置します。
山陽小野田市都市計画審議会委員	都市計画行政の円滑な運営を図るため、都市計画の内容及びその決定手続、都市計画制限、都市計画事業その他都市計画に関し必要な事項を定めることにより、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の推進寄与します。
山陽小野田市基本構想審議会委員	平成30年度から平成41年度までの12年間を期間とする第二次山陽小野田市総合計画の策定に当たり、有識者から意見を聴取します。
山口県山陽小野田市中小企業振興協議会委員	山陽小野田市の中小企業振興推進計画の策定及び計画に基づく施策の検証を行うに当たり、関係団体及び市民代表から意見を聴取します。
山陽小野田市図書館協議会委員	図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べます。
山陽小野田市情報公開審査会委員	山陽小野田市情報公開条例の公文書の公開請求の決定又は不作為に係る審査請求について審議し、答申します。
山陽小野田市個人情報保護審査会委員	山陽小野田市個人情報保護条例で定める開示請求又は訂正等の請求に係る個人情報の開示若しくは訂正等の決定又は不作為に対する審査請求について審議し、及び答申します。並びに同条例に基づき実施機関から求められた事項について意見を述べます。
山陽小野田市空き家対策協議会委員	空き家の適正管理や利活用等の空き家対策を推進するため空き家対策計画策定の協議等を行います。
子ども読書活動推進計画検討委員会委員	山陽小野田市執行機関の附属機関に関する条例に基づき、第三次山陽小野田市子ども読書活動推進計画について検討するため、委員会を置きます。
男女共同参画審議会委員	男女共同参画の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画の策定及び変更に関することのほか、男女共同参画の推進に関する施策の基本的及び重要事項について審査審議します。

## ■ 単位互換協定校の状況

協定校	主旨・目的
東京理科大学	大学間の相互交流と協力を促進し、教育内容の充実を図ることを目的として、両大学の学生がそれぞれ相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することができるものとします。
山口県立大学	
山口学芸大学	

## ■ 外国人留学生の状況

(単位：人)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
外国人留学生の数	16	15	12	12	11	
国別内訳	中華人民共和国	15	15	12	10	8
	セネガル	1	0	0	0	0
	ベトナム	0	0	0	1	2
	マレーシア	0	0	0	1	1
	その他	0	0	0	0	0

※各年度5月1日現在の人数。大学院生を含む

## ■ 平成30年度当初予算の概要

【予算規模】

(単位：千円)

区分	平成30年度
収入支出予算額	2,244,196

(単位：百万円)

区分	平成30年度	
	予算額	構成比
収入		
運営費交付金	1,543	68.8%
授業料収入	677	30.2%
受託研究費収入及び寄付金	12	0.5%
補助金収入	2	0.1%
その他	10	0.4%
合計	2,244	100.0%
支出		
教育研究経費	548	24.4%
人件費	1,090	48.6%
一般管理費	585	26.1%
その他	21	0.9%
合計	2,244	100.0%

## ■ 土地の保有状況

### 【土地】

区 分	面 積
校舎敷地	58,880.22㎡
運動場用地	18,424.75㎡
その他	14,497.63㎡
計	91,802.60㎡

## ■ 主要施設の状況

種 類	構 造
1 号 館	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建、1棟
2号館・3号館	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建、1棟
5 号 館	鉄筋コンクリート陸屋根鉄板葺3階建、1棟
6 号 館	プレストレスト鉄筋コンクリート造陸屋根5階建、1棟
7 号 館	プレストレスト鉄筋コンクリート造陸屋根5階建、1棟
8 号 館	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建、1棟
体 育 館	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建、1棟
第 1 食 堂	鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建、1棟
第 2 食 堂	鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺2階建、1棟
学 生 宿 舎	鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺3階建、1棟
客 員 宿 舎	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建、1棟

(注)8号館は2018年秋頃、完工予定。

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学  
〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通 1-1-1  
TEL : 0836-88-3500 (代表)